



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網嶋 耕二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 難波 篤

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	34,846	2.0	3,216	2.5	3,255	2.5	1,470	8.0
30年3月期第2四半期	34,174	2.6	3,137	10.5	3,177	15.4	1,597	31.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,465百万円 (8.0%) 30年3月期第2四半期 1,594百万円 (32.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	66.19	
30年3月期第2四半期	71.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	59,458	48,287	81.2
30年3月期	59,945	47,510	79.3

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 48,287百万円 30年3月期 47,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		31.00		31.00	62.00
31年3月期		31.00			
31年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,347	1.8	6,663	1.1	6,800	1.0	3,338	7.8	150.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	22,777,370 株	30年3月期	22,777,370 株
31年3月期2Q	564,069 株	30年3月期	563,978 株
31年3月期2Q	22,213,346 株	30年3月期2Q	22,213,460 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報 「参考資料」	11
(1) 仕入実績	11
(2) 販売実績	11
(3) 種類別販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移する一方で、原油価格の高騰や米中貿易摩擦の激化リスクにより不安定さを増している国際情勢を背景に、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、将来不安や根強い節約志向等の影響により力強さに欠ける個人消費が長引く中、恒常化している人手不足に伴う人件費高騰が続いていることに加え、原材料価格の高騰など引き続き厳しいコスト高の経営環境が継続しております。

このような中、当社グループにおきましては、値頃感のあるメニュー開発と従業員研修の充実を図り、商品力、店舗サービス力の向上による既存店強化に取り組んでまいりました。また、派生業態の開発・実験に努めるなど、グループの持続的な成長の事業基盤の拡充に注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中に生麺工房鎌倉パスタ直営店2店舗、神戸元町ドリア直営店1店舗、サンマルクカフェ直営店5店舗、倉式珈琲店直営店4店舗、フランチャイズ店1店舗、計5店舗、実験中の奥出雲玄米食堂井上直営店1店舗、ザ・シーズン直営店1店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店14店舗、フランチャイズ店1店舗、計15店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店875店舗、フランチャイズ店36店舗、合計911店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高348億46百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益32億55百万円（同2.5%増）となりました。また、特別損益では、海外の非連結子会社に対する関係会社株式評価損7億49百万円の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億70百万円（同8.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は190億26百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は21億55百万円（同13.5%増）となりました。

喫茶事業売上高は156億94百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は18億29百万円（同4.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は594億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億87百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は194億47百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億97百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が8億94百万円増加した一方、売掛金が5億25百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は400億10百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億85百万円の減少となりました。これは主に減価償却等により建物及び構築物が6億57百万円減少したこと及び非連結子会社の株式評価損等により、投資その他の資産のその他が10億23百万円減少し、取崩により貸倒引当金が7億円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は69億21百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億36百万円の減少となりました。これは主に買掛金が3億91百万円減少し、未払金が7億84百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は42億49百万円となり前連結会計年度末と比較して1億28百万円の減少となりました。これは主に店舗設備の割賦購入による長期未払金が1億80百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が32百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して7億76百万円増加し、482億87百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.2%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は37億57百万円となり、この主なものは、税金等調整前四半期純利益23億62百万円の獲得、減価償却費16億29百万円の発生及び法人税等の支払が11億38百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては19億92百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出15億6百万円、海外における業態実験のための非連結子会社への貸付けによる支出2億60百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては8億69百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払6億88百万円の資金支出を行ったこと及び割賦債務の返済による支出が1億80百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して8億94百万円増加し、143億75百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

個人消費の伸び悩みや慢性的な人手不足が続くなど外食業界を取り巻く厳しい経営環境の中、既存店売上がやや弱い一方で人件費の上昇傾向が続いたこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高、経常利益ともに当初計画を若干下回る水準で推移しております。下半期におきましては、各業態におけるメニュー拡充などの付加価値向上施策や店舗サービスレベルの維持向上を目的とした体制の強化を引き続き推進していく予定であります。上半期の業績の動向を踏まえ、平成30年5月14日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	71,901	7,042	7,100	3,752	168.91
今回修正予想（B）	70,347	6,663	6,800	3,338	150.27
増減額（B－A）	△1,554	△379	△300	△414	－
増減率（％）	△2.2	△5.4	△4.2	△11.0	－
（ご参考）前期実績 （平成30年3月期）	69,084	6,737	6,867	3,618	162.91

なお、セグメント別の業績予想につきましては、次のとおりであります

レストラン事業におきましては、売上高381億41百万円（前期比0.9%増）、営業利益44億2百万円（同7.7%増）を見込んでおります。

喫茶事業におきましては、売上高318億96百万円（前期比2.1%増）、営業利益37億45百万円（同6.0%減）を見込んでおります。

なお、全社（調整額）は、売上高3億9百万円（前期比966.6%増）、営業損失14億84百万円（前期営業損失13億32百万円）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,481,187	14,375,887
売掛金	4,341,537	3,816,030
原材料及び貯蔵品	317,833	331,978
その他	928,315	941,325
貸倒引当金	△18,659	△17,589
流動資産合計	19,050,213	19,447,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,432,660	20,775,005
土地	3,894,354	3,894,354
その他(純額)	1,912,459	1,965,525
有形固定資産合計	27,239,473	26,634,885
無形固定資産		
その他	133,421	137,051
無形固定資産合計	133,421	137,051
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,437,190	9,476,313
その他	4,789,421	3,766,173
貸倒引当金	△703,841	△3,841
投資その他の資産合計	13,522,770	13,238,645
固定資産合計	40,895,665	40,010,582
資産合計	59,945,878	59,458,215
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,374,725	1,982,777
未払金	3,825,563	3,041,227
未払法人税等	1,067,990	939,666
引当金	71,159	203,800
資産除去債務	2,380	—
その他	716,136	753,933
流動負債合計	8,057,955	6,921,406
固定負債		
長期末払金	889,540	708,801
退職給付に係る負債	191,315	208,340
事業整理損失引当金	63,784	63,784
資産除去債務	3,118,450	3,150,476
その他	114,465	118,079
固定負債合計	4,377,556	4,249,482
負債合計	12,435,511	11,170,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,039,016	3,039,016
利益剰余金	43,973,380	44,755,096
自己株式	△1,255,928	△1,256,178
株主資本合計	47,487,646	48,269,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,720	18,214
その他の包括利益累計額合計	22,720	18,214
純資産合計	47,510,366	48,287,326
負債純資産合計	59,945,878	59,458,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	34,174,850	34,846,931
売上原価	7,413,120	7,577,952
売上総利益	26,761,729	27,268,978
販売費及び一般管理費	23,624,049	24,052,072
営業利益	3,137,680	3,216,906
営業外収益		
受取利息	3,957	3,685
受取配当金	1,119	1,220
受取賃貸料	75,515	92,484
その他	35,931	42,081
営業外収益合計	116,523	139,471
営業外費用		
支払賃借料	64,902	77,137
その他	11,442	23,362
営業外費用合計	76,344	100,500
経常利益	3,177,858	3,255,877
特別利益		
受取保険金	—	103,703
特別利益合計	—	103,703
特別損失		
固定資産除却損	55,421	93,243
減損損失	97,673	95,675
関係会社株式評価損	—	749,792
貸倒引当金繰入額	503,921	—
災害による損失	—	58,397
特別損失合計	657,016	997,108
税金等調整前四半期純利益	2,520,841	2,362,471
法人税、住民税及び事業税	1,205,028	1,010,762
法人税等調整額	△281,782	△118,621
法人税等合計	923,246	892,141
四半期純利益	1,597,595	1,470,330
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,597,595	1,470,330

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	1,597,595	1,470,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,465	△4,505
その他の包括利益合計	△3,465	△4,505
四半期包括利益	1,594,130	1,465,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,594,130	1,465,825
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,520,841	2,362,471
減価償却費	1,634,305	1,629,919
減損損失	97,673	95,675
賞与引当金の増減額(△は減少)	124,421	132,641
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,495	17,025
貸倒引当金の増減額(△は減少)	504,279	△701,070
受取利息及び受取配当金	△5,076	△4,905
受取保険金	—	△103,703
関係会社株式評価損	—	749,792
固定資産除却損	55,421	93,243
災害損失	—	58,397
売上債権の増減額(△は増加)	△87,276	525,506
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,169	△14,134
仕入債務の増減額(△は減少)	△317,098	△391,947
未払金の増減額(△は減少)	102,364	△402,203
その他	△192,468	788,992
小計	4,444,714	4,835,702
利息及び配当金の受取額	1,124	1,225
保険金の受取額	—	59,114
法人税等の支払額	△1,459,887	△1,138,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,985,951	3,757,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,385,066	△1,506,338
無形固定資産の取得による支出	△26,384	△36,209
関係会社貸付けによる支出	△440,000	△260,000
関係会社出資金の払込による支出	—	△70,000
資産除去債務の履行による支出	△46,120	△39,420
その他	88,818	△80,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,808,752	△1,992,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△83	△250
配当金の支払額	△688,043	△688,709
割賦債務の返済による支出	△161,973	△180,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△850,100	△869,698
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	327,097	894,700
現金及び現金同等物の期首残高	11,667,744	13,481,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,994,841	14,375,887

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	18,688,228	15,486,621	34,174,850	—	34,174,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,688,228	15,486,621	34,174,850	—	34,174,850
セグメント利益	1,898,816	1,913,454	3,812,270	△674,590	3,137,680

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用674,590千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト		合 計	調 整 額 (注) 1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	19,026,563	15,694,177	34,720,741	126,190	34,846,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,026,563	15,694,177	34,720,741	126,190	34,846,931
セグメント利益	2,155,943	1,829,694	3,985,637	△768,730	3,216,906

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。
2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価37,701千円、各報告セグメントに配分していない全社費用857,219千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	4,500,874	102.2
喫茶	3,049,918	101.0
合計	7,550,793	101.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	19,026,563	101.8
喫茶	15,694,177	101.3
合計	34,720,741	101.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第2四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	18,502,122	102.4	83,074	79.4	441,366	85.2	19,026,563	101.8
喫茶	15,435,094	101.3	25,896	96.2	233,186	104.2	15,694,177	101.3
合計	33,937,217	101.9	108,971	82.8	674,552	90.9	34,720,741	101.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。